

QYouth
For youth

きちなか

Qyouth

vol.01



やりたいことはない。

だけど、きっと

自分にも何かできるはず。

まちと、おとなと、出会う

新しい自分と出会う

非日常の二日間。

YOUTH MEET
PASSION in TOYOTA

#まちと出会う #おとなと出会う #自分と出会う

What's まちなか Qyouth..

まちなかQyouthとは、

Youth（高校生）が"まち"やまちで活躍する"人"に焦点を当てて、

Q（問い）を立て実際に町の中で、フィールドワークを行います。

そこで、高校生が感じたことや気づいたこと、学んだことを、

高校生同士の振り返りや、大学生パートナーとの対話を通して、

言語化し、それをフリーペーパーとして表現をし、

自分の言葉で大人たちに語るプログラムです。

point 03

気づいたこと、学んだことを自分の言葉で表現する。まちなかQyouthでは、フィールドワークで気づいたこと、学んだことを自分の言葉で言語化して、意味づけ・価値づけすることを大切にしているので、実際のフィールドワークよりも振り返りの時間を長く設定しています。振り返りでは、ワークシートで自分の心と対話をしたり、そのワークシートをもとに高校生同士で学びを深めたり、大学生パートナーとの対話を通じて、自分の納得いく言葉を見つけます。そして、最終的にはその言葉をフリーペーパーとして表現していきます。

point 01

高校生が1歩目の挑戦の場として気軽に参加できるプログラム。「やりたいことはない、だけど、きっと、自分にも何かできるはず」そんなチラシの表紙のキャッチコピーのように、やりたいことがなくても、なんとなく、自分もなにかやってみたいと思っている高校生が気軽に参加できるプログラムとして、企画しました。取材前にもプロの新聞記者さんをお招きし、取材の際のアドバイスをいただいたことで、普段大人とのコミュニケーションに慣れていない高校生もいきいきとフィールドワークを行っていました。

現地に行って、人と、まちとリアルに出会う。感染症の影響で、様々なプログラムがオンラインに代替される中、まちなかQyouthでは概念的な探究学習にとどまらず、リアルとの出会いから学んだり、探究したりすることを大切にしています。実際に現地に行くことで、若者が豊田市の魅力を発見して、地域と若者の繋がりを生み出します。

point 02

CONTENTS

02	Qyouthとは
03-04	有限会社ホンダ薬局
05-06	STREET COFFEE&BOOKS
07-08	鈴木時計舗
09-10	kabo.
11-12	株式会社 eight
13-14	受入れ事業者様の声
15-16	大学生サポーターの声
17	終わりに

悩んでいる人だけではなく 「自分は健康だ」と思う人も！

最近、頭痛に悩まされている人、ずっと気持ちが沈んでいる人はいませんか？そんな人は是非ホンダ薬局にいらしてください。心と体は繋がっています。あなたの体の不調は心が原因かもしれないし、あなたの心の不調は体が原因かもしれません。本多さんならあなたにぴったりの漢方を処方してくれることでしょう。でも、それだけではないんです。「自分は健康だ」と思ってる人もぜひ来て欲しいです。本多さんは自分が気づいていない体調にも気づいてくれます。私も名刺をいただいた時に、本多さんに「あなたは冷え性ですね」と言われました。そんな自覚は今までなかったのですが、手の色で大まかな体質がわかるそう。自分では気づかないこと、何も変わっていないと思い込んでいること、きっとあるでしょう。そんな人たちの体調に「気づく場所」になりうると思っています。

Recommended points

対話によって
人に寄り添う

「古く新しい薬局」



ホンダ薬局 Honda Pharmacy

地域に愛される「対話型薬局」

豊田市駅から徒歩6分、商店街「1番街」の端に位置する薬局の名前は「ホンダ薬局」上を見上げると、看板には「対話型薬局」の文字が。足元には店主である本多さんが生み出した「元気にんにくマン」のオブジェクト。店内に入ると目を引くのは大量のCDレコード。本多さんは音楽鑑賞やお茶を入れることが趣味だそうで、お客さんと話す時はその人に合うお茶を勧めているそうです。そんなお茶目な店主が営むホンダ薬局ですが普通の薬局とは一味違います。

それは「対話型薬局」というスタイル。本多さんは薬を処方する上でお客さんと「対話」を通して薬を決めています。それだけ聞くと、カウンセリングと同じではないか？という人もいます。ですが、違います。本多さんはただ相手の症状を伺うだけではなく、自己開示を行うことを忘れないのだそうです。「悩みを聞かれるまでは無知である」本多さんはそう言います。知識をどれだけ蓄えていても、その人のことがわからなければ何もないのと同じだ、と。相手の本音や背景を引き出すために、相手と同じ条件、目線で寄り添う気持ちを大切にしていることが、地域に愛される理由なのでしょう。

- # 対話型薬局
- # 新しいものとの共存
- # 職住一体

Honda-san's Philosophy

本多さんは「カウンセリングという言葉が嫌いだ」と話していました。カウンセリングは誘導だと。ネット上の〇〇診断に似た一問一答のカウンセリングには、言葉のキャッチボールがありません。知らず知らずのうちに自分の予想した結果に当てはめてしまってる可能性もあります。だから、本多さんは対話にこだわります。対話を通して自分の本当の思いを見つめ直す。そんな機会を本多さんは与えているのかだと思いました。

コンビニやドラッグストアなどの便利なものがものが台頭して来ると、商店街や薬局などの古いものは衰退しがちだけど、逆手にとって、得意分野に絞れるようになったと捉えて、共存しているところが素敵だと思いました。

Information

店舗名：ホンダ薬局
住所：愛知県豊田市桜町1丁目83
電話番号：0565-32-1946

コミュニケーションが
苦手な人も得意な人も大歓迎！！

こんな人にオススメ

- ・日々の疲れを癒したい人
- ・色々な価値観を持つ人との会話を楽しみたい人
- ・何か悩みを抱えて前に一步踏み出したい人
- ・忙しい毎日にゆっくりとした時間が欲しい人

店主希さんに聞きました

OWNER'S VOICE

希さんはお店について毎日が印象的で、小さい幸せがあるとおっしゃっていました。些細な幸せを感じ取れる感性豊かな希さんだからこそコーヒーの淹れ方には正解がないから、人間っぽいと表現されていました。私たちも実際に飲ませていただいて、正解がないからこそ希さんのこだわりが詰まったコーヒーの味になるのだと実感しました。

また、お客さん全員に平等に接するように心がけているようで、常連さんも初めて来た人も上下なく同じように関わられるようにしています。お金に余裕のない人でも小さい負担で居心地よくお店に入れるよう手の届きやすい金額のメニューも用意されています。希さんはコーヒーが美味しくない、本屋さんだけではお店が成り立たないと考えていて、コーヒーを手としてお客さんに思いを届けています。

お客さんに聞きました

CUSTOMER'S VOICE

希さんが美味しそうな顔で一滴一滴大切にしてくれるコーヒーが好きだとおっしゃっていた常連さんはお店に通うことがライフスタイルになっているそうです。そんな常連さんも多いのでお客さん同士はみんな仲良しで繋がりが生まれています。

Information

店舗名：STREETCOFFEE&BOOKS
住所：愛知県豊田市西町6-81-4
WEB：<https://streetcoffeeandbooks.cafebusnon.com>
SNS(Instagram)：@streetcoffeeandbooks

Recommended
Points



STREET COFFEE&BOOKS

お店について

事務職のお茶汲みで感じた喜びをきっかけに『ここを通った人の1日が、ちょっとハッピーになりますように。』という願いを込めて立ち上げられたお店、STREET COFFEE&BOOKS。カフェの専門学校を卒業後、移動カフェ『CAFEBUSON』を始めました。出産を経て、TCCM(豊田の街をつくる会社)の誘いを受けて豊田市駅前にこのお店をオープンされました。移動カフェをやっている時に感じた世の中への違和感から社会が平和になるための本をこだわりのコーヒーと共に販売されています。店主である、中島希さんの社会のためにできることを仕事にしたいという思いに惹きつけられたお客さんが和やかな憩いの場を作っています。困っているときは助けて欲しいと周りの人に頼れるような社会をつくるため、誰でも入られて誰でも使える共有資金、シェアマネーもレジの前に置かれています。希さんの人柄がつくるやさしいお店に、あなたもコーヒーと本を楽しみに来ませんか。

街の中の憩いの場

コーヒーから生まれる対話

誰でも歓迎

心を穏やかにしてくれる
みんなで作る憩いのお店。



時間を着飾るスタイリッシュな 人生を送る人へ

【社会人】
直ちに正確な時間管理を求める人ビジネスの
場で上品で洗礼されたイメージを与えたい人

【学生】
入学記念などで買い生涯使用し時計と共に
思い出を作っていく人

【ファッション愛好者】
ファッションの一部として時計を使用する人

【若者】
時計を使用せずスマホで済ませている人

Recommended
Points

まどかちゃん

「ずっと残る続けるものは生涯の財産になる」という言葉が1番感動しました。私のイメージではアナログの時計だけでは、アップルウォッチやスマホに商売で勝てないのではないかと考えていましたが、オーナーのすずきさんは、アップルウォッチやスマホはもって10年くらいで買い替えないといけないけど、アナログの時計は少なくとも50年はもつので、ずっと使い続けられるし、ずっと残るものだから何よりも価値がある、と言っていました。

現代社会は、なにかと効率や大量生産に価値を見出されて、一人ひとりが無視されがちな世の中です。たくさんあって安く便利なものも勿論いいですが、手間はかかるけど大切な思い出が残り続けるものは本当に素敵だなと思いました。

私も、勉強やコミュニケーションから逃げずに生涯残る続ける財産になると思って、向き合おうと思いました。

かっきー

明治44年から現在まで113年続いてきた当店では、“人との関わり大切さ”に重きを置いてきた。それを知った私は、普段の生活に取り入れるため、信頼の構築や相手への共感など取材から学んだことを活かしたいと考えた。そして人との関わりは当店の長続きに限らず、私の人間関係が長続きするためにも大切なことだと改めて再確認した。

Information

鈴木時計舗
住所：愛知県豊田市神明町1丁目2-4
電話番号：0565-32-0263
WEB：https://suzukitokei-toyota.business.site/



鈴木時計舗

SUZUKI TOKEI HO

時間を共有し、人との絆を刻む、 あなたのための時計店

当店では時計を単なる時間を測るための道具以上に、人との関わりを大切にしてきました。時計1つ1つに想いが込められており、それが人とのつながりを深め、大切な瞬間を共有するきっかけになってきたのです。ここではアットホームな雰囲気でお客様との対話を大切に、心地の良い買い物ができる空間を心がけています。また当店は時を超えて続く信頼と温かい人間関係を築くために、これからもお客様と共に歩いていくそんな時計店です。

先祖代々

思い入れ

最先端

日本一心のこもった
時計屋さん



偶然の出会いを楽しみたい人へ！

豊田には何もないと思っている人が多い。
 しかし住んでいる街でも、案外地元の人やお店を知ることには少ない。
 地元や訪れた土地での**偶然出会い**はとても新鮮！
 犬飼さんをはじめ豊田に魅せられた人と関わることで、
 今まで気づかなかった**豊田の魅力**を知れること間違いなし！
 このアットホームな場で、豊田の魅力を感じてみませんか？

Recommended
 points

豊田の魅力！

Toyota is good!

豊田市の魅力は、ずばり！地域の方々の温かさにある。
 多様な活動をしている個性豊かな仲間が集い、協力していく文化がこの地域にあると犬飼さんは語る。伝統のある街で新しいことを生み出す力がこの街にはある。

私、何もできないから、

Inukai-san's character

犬飼さんはインタビュー中、楽しそうに「私何もできないから、色んな人が助けてくれるんだよ」とおっしゃっていた。その素直さ、自分の弱みを隠さない姿をみて人は惹きつけられるだろう。犬飼さんの人柄から生まれたつながりが「kabo.」を形作っているのだ。

Information

kabo.
 住所：愛知県豊田市竹生町2丁目4-22
 電話番号：0565777202
 WEB：kabo-toyota.com
 Instagram：@kabo.toyota



KABO.TOYOTA



街のリビング“kabo.”

豊田の魅力の発信の場！！

まちのリビングkabo.は犬飼詩織さんが運営するゲストハウスで、
 宿舎/喫茶/レンタルスペース/情報発信/の4つの事業を主に
 なさっている。これらに共通するのは、豊田市を知ってほしいと
 という熱い思いだ。お客さんにゲストハウスを活用していただき長
 く滞在していただくことで、地域を知っていただくきっかけに。
 喫茶を通して、地元の食を。そして、レンタルスペースを活用し
 て豊田市で挑戦する若者を支援し地元の方々へ交流の場お提供し
 ている。今後の展望として、「ローカルメディアを立ち上げ地域の
 魅力発信にも力を入れたい」とおっしゃっていた。

豊田市の繋がりの場所

人が好き！
 応援したい！



#We Love TOYOTA

人との繋がり

魅力発見と挑戦の場



04

生き「かた」の描き「かた」に悩める人へ

【大学生】
初めてのキャリアに悩める人
【現役世代】
今の環境に疑問を抱いている人
モチベーションに波を感じる人
漠然とした将来への不安を感じる

【子育て世代（女性）】
家庭を持ってキャリアを諦めたくない人
【管理職世代】
リスタートを考え始めた人
女性社員の接し方に悩める人

Recommended
points



Seri & Madoka's Feeling

せり

鬼木さんが、「流れに身を任せてそのときやりたいと思ったことを素直にやるのが一番いい。自分のことを信じていればなんとかなる」と言っているのを聞いて、力強い言葉だと感じたと同時に、今を見つめて、楽しむことの大切さを改めて教えられた。今の自分の身体や心に向き合うことの大切さを再認識した。

まどか

“母”や“女性”、“こども”や“夫”。この社会には、肩書きやカテゴリー後に「こうでなきゃいけない」という窮屈さを感じます。株式会社 eight では、そんな常識や当たり前よりも自分自身を大切にしています。私の意思。私の本音。私の人生。自分の心の声を聞いて、いっしょに描きかたを模索してくれる鬼木さんはきっと誰よりも自分の人生を生きているのだなと感じました。



Information

株式会社 eight
住所：豊田市西町 1-200 豊田参合館 1F
電話番号：0565-41-8871
WEB：https://eight8.jp/
SNS：



@EIGHT_TOYOTA



株式会社 eight eight co.,ltd.

誰もが創造的で 豊かなキャリアを築ける社会へ

eight のキャリアコンサルタントは本業、子育て、介護、地域活動、副業を両立しながら自分らしく働くを体現しています。誰もが実感している“働きがい”をヒントに、組織のニーズに合わせた研修プログラムを提供しています。管理者へは、両立社員がイキイキと育つことで自分も働きがいを叶えられるように。両立社員へは、そこで働く意義を再確認。今が未来につながっていると信じられるようにという思いで研修を実施しています。お互いを信頼し、助け合い、もっと貢献したい、ずっと働きたい、そう思える組織に変えていくお手伝いを全力でしている会社です。



キャリアデザイン
楽しく働く
豊かな生き方

母でもない。女性でもない。
自分の幸せを自分で描く。



受け入れ事業者様の声



鈴木時計舗
鈴木 政勝さん

今回は素敵な機会をありがとうございました。自分にとっても新たな気づきがあった様に思います。学生のうちは何となくみんなと同じ枠の中で生きていますが社会に出ると自分で選択して責任を持って生きていかなくてはなりません何を大事にするのか、自分の好きなものややりたい事が見つかるの良いですね。このイベントを通して若い世代の新しい価値観を発見する機会になれば良いし、個人店や商店街の現状に何か変化が起きるきっかけの一つにもなればと思います。



有限会社ホンダ薬局
本多 勝幸さん

最初からうちの店の最も伝えたいこと、対話型薬局について聞かれたことには本当に驚きました。病気は個々の暮らしの中に理由があって起きるものです。だから、治す、元に戻すためには自分の居る場所、立場、習慣など自分自身全般に対して興味を持ち理解する必要があります。対話という形でそれを知る大切さを話す機会を与えていただいたこと、本当に感謝しています。イベントをするにも取材をするにも、行き当たりばったりではなく、準備が9割だと思えます。それがしっかりできていたことで、お迎えする店側も楽しめました。今後の更なる発展を楽しみにしています。

kabo.
犬飼 詩織さん



参加者の高校生がいきいきと質問してくれたのも、大学生サポーターたちのおかげだなと感じる時間でした。それぞれの役割分担で作り上げられたプログラムに受け入れ側として参加させてもらえ、私も地域の方たちにたくさん育ててもらったからこそ、地域の人として関わることが純粹に嬉しかった。

学生時代に色々な生き方の大人の話聞いて、同年代のメンバーたちと一緒に何かをつくりあげるとい体験は、大人になった時に彼らの糧になると思う。ふとした時にその時の想いや繋がりに助けられる時がくるはず。2日間の短い時間でカタチにする丁寧なサポートが素敵。これからのQYouthプログラムの継続と発展も楽しみにしています^^

streetcoffe & books
中島 希さん



なにかほんの少しでも、心に残ることがあったとしたら幸いです。仕事をする、ということが、ネガティブなものではなく、楽しみなことになるよう、大人の方から社会全体を見つめ直していかなければならないのではないかと改めて感じました。子どもや若者が、いろんな価値観の人に会えるのはとても貴重なこと。この人はこういう考えだから、こういう仕事の仕方をしている、あの人にはこういう哲学がある、など、質問をする中で自分で考察することができるのは、インタビューならではのと思いました。ありがとうございました。

株式会社 eight
鬼木 利恵さん



2日間という短い間に、まちなかの企業や店舗、参加の高校生、サポーターの大学生、その他仲間や応援者を巻き込んだ濃い、濃すぎるプログラム。1人ずつ、一歩ずつ、ゆっくりでも良いので、続けていってください。参加者にとってもですが、まちが豊かになる企画ですよね。良い循環が生まれるのが楽しみです。

SUPPORTERS

大学生サポーターの声

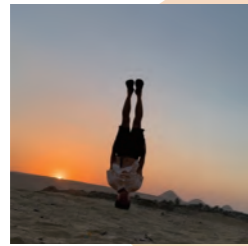
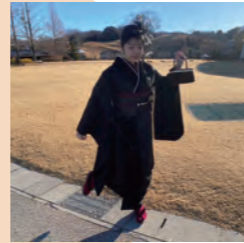


まあや

高校生の「○○したい!」という想いをどう形にするのか、どう次のステップへつなげるのか等、たくさん考えながらコミュニケーションをとるのが難しかったです。でも同時に、その難しさに向き合い高校生のために考えている時間が楽しく、2日間という短い中でも、高校生の成長を感じられた際はとても嬉しかったです。インタビューは自分自身の学びにも繋がりました。高校生に負けないように自分もこれからも頑張ろうと思えました!

あい

高校生と共に、まちと、おとなと、出会った2日間はとても有意義なものでした。フィールドワークや高校生との対話を通して、私も自分と向き合うことができ、貴重な経験ができたと感じています。また、地元豊田市の素晴らしい魅力にたくさん触れて豊田市への愛も深まりました。率直に、とっても楽しかったです! 出会ってくれたみなさんへ感謝を込めて、ありがとうございました!



わたる

「この世界は僕らの学校だ」

そう改めて思うことができた今回のプロジェクトだった。今回高校生たちは普段過ごしている学校ではなく、豊田市というフィールドに飛び出た。そこにある素敵なお店、そしてそこで働く大人たちに出会う。そこにはリアルな学びと、たくさんのチャレンジが詰め込まれていて、最後に大勢の前で発表する姿は最高にカッコよかった。

Qyouth がそんなきっかけとなって、こっからみんながどんどん世界を広げてチャレンジしていくのが楽しみ過ぎる!

光太郎くん

二日間という短い期間のプログラムではありましたが、中でも高校生の成長やそこで得た学びの大きさに驚かされるばかりでした。可能性に満ち溢れているみんながこれからどんなふうに変化していくのか、どんな行動につながっていくのか本当に楽しみです!

高校生の姿を見て、自分自身のキャリアを見直すという点に関してたくさんの気づきがあって本当に参加してよかったなと心の底から思います。



ふなくん

2日間というとても短い期間、そしてギリギリに詰め込まれたスケジュールの中で参加してくれた高校生は勿論、大学生サポーター等、様々な人たちの成長を発見することができました。

参加してくれた当初はどこか緊張した面持ちの高校生たちが最終のプレゼン、とりわけ個別プレゼンでは多少時間がかかろうとも自分の考えたことを一生懸命に話す彼らの姿に心打られました。また是非来年も関わらせてもらえたら嬉しいです。ありがとうございました。

そうた

1日目だけの参加でしたが、素敵なイベントだったな、と感じました。高校生の子達の学びや経験はもちろんのこと、大学生の1人としても事業所さんの話を聞いて、自分自身のキャリアについて考え直すきっかけになりました。他の地域でも、そして来年もやってほしいなあと、思っています! ありがとうございました!



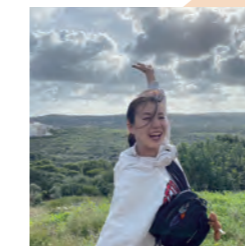
かずくん

僕は今回プログラムが終わり、自分自身チャレンジャーであり続けたいと思った。伴走をしていく中で、熱を込めて話すことができた部分があればそうでなかった部分もある。自分の活動が高校生に影響を与えられるなという感覚もあったために、本気で日々の挑戦を自ら取りにいて、どれだけ苦悩したかが大事だなと思った。

そのために、チャレンジャーであり続けたいと思えた、すごいいい機会でした。

ほーりー

これまで伴走者として高校生と関わるという経験をあまりしてこなかったのが、「内省する場面でどうしたら上手く関われるかな?」と正直不安でした。けれど、「何かを与えなきゃ」という気持ちではなく、目の前の高校生と対話する中で、心の内に秘められた想いを引き出す手助けができればという意識で向き合ってみることで、自然と高校生の方から色々な言葉が出てきて、そこから彼ら彼女ら自身も知らなかった気づきが生まれて……そんな高校生の姿が今でも印象に残っています! 本当にありがとうございました!



すぎえっぺい

「この人と出会ったから人生が変わった」そんな経験がある人は多いのではないのでしょうか。私にとっては小学校の先生がその1人です。

今回、高校生たちとともに普段生活していたら出会わない大人に会いに行き、話を聞きました。そして、その言葉の裏にある想いを、一緒に考えました。同じ言葉を聞いても一人一人感じることが違い、それを共有することで自分だけでは気づけなかった想いに気づけました。素敵な大人との出会い、素敵な大学生達との出会い、そして素敵な高校生達との出会いに感謝。出会えて良かったー!

しのちゃん

他のグループとは違って、事前調べの時間を各々取ってインタビューに臨んだ2人。「eight」さんへ行く道中、「どうしよう〜」と不安がっていた2人ですが、堂々とインタビューしていました。鬼木さんの話から自分のこと、そしてこれからの人生のことを語り合えて、とても貴重な時間になりました☆

どんな言葉を選べば、安っぽい印象にならず、読み手の皆さんにeightさんの良さが最大限に伝わるかを、かなり時間かけながら作りました!





企画・運営：あいす 鈴木 友喬

デザイン：株式会社レジスタ

撮影：伊邊 夢

企画：2024.01.20-21

まちなかQYouthのフリーペーパーを手にとっていただき、
最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

たくさんの方に支えていただき、第1回目のまちなかQYouthを無事終えることができました。
このまちなかQYouthは私自身が高校時代に多様な大人と出会うことで、人生が大きく変化した経験から
自分と同じような体験を自分の地元豊田で、高校生に届けたいと思い企画しました。
そんな今回の企画に豊田市のまちなかで活躍する素敵な5つの事業所の皆様、
10名を超える大学生パートナーが賛同してくれて開催することができました。
1日目にフィールドワークに事業所に行き、2日目にフリーペーパーを作成しました。
2日目の最後は様々な大人の方をお呼びして、フリーペーパーの発表、
個人の気づきや学びを共有するYouth Presentationを行いました。

2日間を通して、最も大切にされたことは、「高校生の気づきを高校生の言葉で語ること」です。

普段、高校生と関わる機会が多いのですが、
彼ら彼女らは、無意識に大人から求められる言葉を選んで話すことができるようになっていて、
いや、なってしまうと感じる瞬間があります。
それは今の成果主義社会の中でもしかしたら、仕方のないことかもしれない、役に立つことかもしれない。
しかし、良い評価されるための言葉選びをした先に、
いつか本当の自分の心が分からなくなる瞬間がきてしまうのではないかと、
そんなことを思ったりしていました。

だからこそ、今回のまちなかQYouthに参加している間だけは、
誰かの目や、機嫌を伺うことなく、自分の感じたことを、自分の言葉で話してほしい。そう思っていました。
そんな、経験がいつかきっと今回参加してくれた彼ら彼女らの心の余白になると信じて、

ここでは、語り切れないほどの感動する瞬間が2日間の中でありました。

ぜひ、また次回、開催したいと強く思っています。
皆さんとまた、その時お会いできるのを楽しみにしております。

最後になりますが、まちなかQYouthを実施するにあたり、
受入事業所の皆様はじめ、大学生パートナー皆さん、まちなかQYouthに関わって下さった皆さんには
多大なるご理解とご協力を賜わり、心より感謝申し上げます。
これからも皆さんとともに、このまちなかQYouthを
皆さんと一緒に作っていただけるのを楽しみにしております。

あいす代表 鈴木 友喬